

## 海外安全対策情報 平成28年度第2四半期

### 1 社会・治安情勢

(1) 7月26日、ビシュケク市ゴーリキー公園において、安価な住宅の供給を求める100人規模のデモが開催された。

(2) 7月27日、ジャララバード州バザール・コルゴン地区において、アスカロフ弁護士の釈放に反対するデモが開催された。

(3) 8月8日、オシュ州において、マイクロファイナンスによる債務者100人が債務減額を求める無許可デモを行った。

(4) 8月23日、ジャララバード州アク・スー地区において、ウズベキスタンとの国境問題に抗議する70人規模の集会在開催された。

(5) 8月25日、ナリン州カラ・ケチュ炭田において、給与の支払いを求めるストライキが発生した。

(6) 8月27日、ジャララバード州アク・スー地区において、ウズベキスタンとの国境問題に抗議する200人規模の集会在開催された。

(7) 9月1日、ビシュケク市において、私有の庭園を公共のために使用する土地法の改正について反対する200人規模のデモが開催された。

(8) 9月15日、ビシュケク市ペルボマイスキー地区裁判所前において、国家転覆罪で拘束されたアサノフ元知事の支持者がデモを開催した。

(9) 9月15日、バトケン州カダムジャイ地区において、ウズベキスタンとの国境問題の解決を求める50人規模のデモが開催された。

(10) 9月21日、ビシュケク市共和国議会前において、土地法の改正に反対する50人規模のデモが開催された。

(11) 9月27日、ビシュケク市共和国議会前において、債務支払い延期等を求める400人規模のデモが開催された。

### 2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

殺人、強盗等の凶悪事件が散見される他、空き巣、公共交通機関やバザールでのスリ、置き引き等の窃盗事件が日常的に発生し、銃器薬物関係犯罪の発生も多い。日本人は、路上強盗、窃盗、また官憲による賄賂の要求等に特に注意を要する。

#### (1) 殺人・強盗等、凶悪犯罪の一例

ア 7月11日、タラス市において男性が刺殺され、7月14日、警察が被疑者を逮捕したと発表した。

イ 7月15日午後5時45分ころ、オシュ州において強盗目的殺人事件が発生し、7月17日、警察が被疑者を逮捕したと発表した。

ウ 8月4日午前2時50分ころ、警察は、ビシュケク市レニンスキー地区において、妻を絞殺した被疑者を逮捕した。

エ 8月23日、ビシュケク市イブライモバ通りにおいて男性の撲殺体が発見され、8月24日、警察が被疑者を逮捕した。

オ 8月28日午前6時45分ころ、ビシュケク市スクリャービン通りとエレバエバ通り付近に所在する「キルギステレコム」社の警備員1人が殺害され、8月30日、警察が被疑者2人を逮捕したと発表した。

カ 9月25日午前1時30分ころ、チュイ州アラメディン地区において男性の刺殺体が発見され、9月30日、警察が被疑者を逮捕したと発表した。

## (2) 邦人被害

認知していない。

## 3 テロ・爆弾事件発生状況

### (1) テロ事件

ア 7月7日、国家安全保障委員会及び内務省は、チュイ州アラメディン地区において、宗教過激組織「ヒズブ・タフリール」活動家を拘束し、電子メディア等60個の証拠品を押収した。

イ 7月22日、内務省は、ビシュケク市及びチュイ州において、宗教過激組織「タクフィリ・ジハーディスト運動」支持者を逮捕し、銃器、弾薬、宗教的な内容を含むDVD、鬘及び使い捨てマスクを押収したと発表した。

ウ 8月1日、国境警備隊は、オシュ空港において、シリア反体制派側での戦闘行為に参加するため、イスタンブールへの渡航を試みた20歳の被疑者を逮捕した。同人はソーシャルネットワークサービス「アドナクラスニキ」やメッセージアプリ「What's APP」を使用して、シリアへ渡航している30歳の兄、23歳の姉などの親族からシリアにおけるジハードを呼びかけられていた。

エ 8月9日、国家安全保障委員会は、バトケン州からシリアの戦闘地域に渡航していたキルギス国民2人を拘束したと発表した。

オ 8月20日、国家安全保障委員会は、イシククリ州において、テロ企図容疑で国際テロ組織構成員である外国人2人を拘束した。

カ 8月26日、国家安全保障委員会及び内務省第10総局は、ビシュケク市において、「イスラム国」関係者であるロシア国民1人を拘束し、「イスラム国」の旗4枚、小銃1丁、9ミリ拳銃用弾薬35発、5.45ミリ拳銃用弾薬19発、銃弾3発、手榴弾2個、迷彩マスク2枚、医療用マスク2枚、DVD5枚、書籍2冊、ノート2冊、リーフレット200枚、携帯電話6台、SIMカード6枚、マイクロフラッシュメモリ4枚、ノートパソコン1台、大麻、抗

精神剤1パック、野球用バット1個を押収した。

キ 8月30日午前9時40分ころ、ビシュケク市南部所在の中国大使館において自爆テロ事件が発生し、被疑者1人が死亡し、3人が負傷した。9月7日、国家安全保障委員会は、容疑者の自宅を捜索し、キルギス国民5人を逮捕し、4人を指名手配したと発表した。

ク 8月29日、国際テロ組織の地下細胞に対して、ビシュケク市近郊におけるテロ対策捜査が行われたと、9月6日、国家安全保障委員会報道官が発表した。捜索の結果、「サイガ」式カービン銃、乾電池付き手製自爆装置及び大量の弾薬が発見され、押収された。

ケ 9月2日、国家安全保障委員会は、ビシュケク市におけるテロ対策作戦において、カザフスタンから渡航していた国際テロ組織「レジーム・アジダニヤ」のリーダーでカザフスタン国民であるマメドフ・シャモ・ルザエビッチを特定し、拘束した。

#### (2) 爆弾事件

ア 7月29日午前9時ころ、ビシュケク市郊外オルトサイ村において、最高検察庁上級検事の所有する車が爆発し、同検事が重傷を負った。

イ 8月9日、内務省第10総局は、ジャララバード州スザク地区において、違法に爆発物を所持し、自宅において大麻を栽培していた被疑者2人を逮捕した。

### 4 誘拐・脅迫事件発生状況

#### (1) 誘拐・脅迫犯罪の一例

ア 8月14日午前1時30分ころ、ビシュケク市において、トルコ人が誘拐され、現金50,000ドルを要求された。8月17日、警察がトルコ人被疑者1人を逮捕したと発表した。

イ 9月21日、警察は、ビシュケク市において発生した身代金目的誘拐事件被疑者を逮捕したと発表した。

ウ 9月24日午前9時20分ころ、ビシュケク市において女兒の誘拐事件が発生し、9月26日、警察が被疑者を逮捕したと発表した。

#### (2) 邦人被害

認知していない。

### 5 日本企業の安全に関する諸問題

キルギスでは、1999年8月に南部バトケン州において、邦人4名等が過激派武装勢力により誘拐されており、注意を要する。(了)